

平成31年4月8日

着任のあいさつ 校長 吉実 隆充

この度の異動で、10名の先生が着任いたしました。
昨年までおられた先生方と、転任してきた先生方とで力を合わせて、
進級したみなさんと、もうすぐ入学する新入生が新鮮な気持ちで、
よい中学校生活のスタートがきれるようがんばります。
よろしくお願いいたします。

始業式 式辞

令和元年が始まります。
「れいわ」は「和しむべし」とも読めて、
「みんなで仲良くしましょう」という
意味にもなるそうです。
聖徳太子の十七条憲法の「和をもって貴しとなす」に
返っていく意味の元号であるともいえます。
集団で学び、活動することの多い学校では
和をもって、お互いを尊重するという精神は欠かせません。
その第一歩となるのは、「あいさつ」です。
前任の片山校長先生は、
さきに あかるく おおきなこえで とおくから なんども
の一文字目をとって、「さあおとな」というスローガンを
かかげておられました。このあいさつを大切にする精神は
ぜひ、受け継いでいきたいと考えております。
あいさつは、相手を尊重するメッセージだからです。
もう一つ大切にしたい玉島東中の伝統は、「よき先輩であれ」
という精神です。よき先輩であるためには、自分を磨き、他人を
あるいは後輩を大切にするということが必要です。それがなくては
「よき先輩」であることはできません。
この二つの、「あいさつの大切さ」と「よき先輩であれ」という言葉を
もう一度、この始業式で繰り返して皆さんに伝えたいと思います。
そして、私は、皆さん一人一人が、自分の可能性を伸ばして、
自分にしかできない「何か」を見つけ、輝くことのできる
中学校生活を送ってほしいと考えています。
自分にしかできない「何か」とは・・・
それは、自分しかできない「工夫した勉強の仕方」かもしれません。
自分にしか打てない「サーブ」かもしれません。
自分にしか書けない「書道」かもしれません。
自分しか知らない「本の世界」かもしれません。
自分しか知らない「星や宇宙の世界」かもしれません。
それをぜひ見つけてください。
新しい出会いのある新学期です。
新鮮な気持ちで、元気いっぱい、
どうぞ、よいスタートをきってください。